

地域医療に貢献し 信頼される病院として

塩竈市立病院新改革プランを策定しました！

平成28年度からの5年間を計画期間として、地域医療における当院の役割を明確にし、さらなる経営の効率化を進めるために、「塩竈市立病院新改革プラン」を策定しました。

本プランでは、救急患者の受け入れを含む急性期医療を中心に、宮城県の地域医療構想(※)を踏まえ、公立病院として当院が担うべき4つの医療機能を定めました。本プランの概要を紹介します。

※地域医療構想とは

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、県内を4つの医療圏に分け、医療圏ごとに各医療機能(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)の将来の必要量を定め、病床機能の分化を適切に推進するための指針です。

県内の医療圏は、仙南、仙台、大崎・栗原、石巻・登米・気仙沼の4つに分かれ、当院は仙台医療圏に属します。

地域医療構想を踏まえた 当院の役割

急性期医療

24時間体制で、積極的な救急患者の受け入れを行うとともに、急性期病棟で、手術を含む集中的な治療を必要とする患者さんへの医療を提供します。



主な目標

救急患者受入件数 1,000件/年
手術件数 240件/年

回復期医療

当院の急性期病棟や、他院で一定の治療が終了したものの、在宅復帰に不安がある患者さんを地域包括ケア病棟で受け入れ、リハビリなどを行い、在宅への復帰を支援します。



主な目標

在宅復帰率 80%

慢性期医療

現在の療養病棟を維持し、病状は安定しているものの、継続的な医療を必要としている患者さんへの医療を提供します。



在宅医療

医師の訪問診療や看護師の訪問看護、理学療法士などの訪問リハビリを中心に、自宅などで療養をし、通院が困難な患者さんに医療を提供します。



主な目標

訪問診療件数1,600件/年
訪問看護件数2,600件/年

経営の効率化

経営の効率化に向けて、具体的な目標を掲げ、積極的に取り組みます。

収入確保

- ・紹介患者受け入れの強化
- ・患者満足度の向上
- ・外来採血の開始時間の繰り上げ
- ・人間ドックや健康診断の利用者へのフォローアップの強化

経費削減

- ・委託費などの契約内容の見直し
- ・後発医薬品への切り替えを推進

主な目標

入院患者数 151.3人/日
外来患者数 276.3人/日
紹介患者件数 1,500件/年
人間ドック件数 2,400件/年

再編・ネットワーク化

当院で開設が困難な診療科などは、近隣病院や診療所などと連携し安心で安定した医療提供体制を目指します。

経営形態

今後の高齢化の進行に伴い、公立病院としての役割が増していくことから、現在の経営形態を継続します。



患者満足度調査で、外来受診の患者さんの意見を直接聞き、改善への取り組みを行っています



外来採血の開始時間の繰り上げにより、午前8時から採血が可能になりました

市立病院経営改革室

364-5521